

臨床検査専門科目	生物化学分析検査学					
		1単位	実習	平成30年度	前期	3年次
臨床検査学科	必修					
科目名	分子生物学実習 Practice of Molecular Biology					
担当教員	◎中村彰宏 堀江修 竹田真由 大峠和彦					
目的	遺伝子・染色体検査および関連検査技術に必要な知識と技術を学ぶ。					
目標	1) 遺伝子検査に用いる試薬・機器の使い方を理解し、実施することができる。 2) 検体および核酸の扱い方を理解し、実施することができる。 3) DNAおよびRNAの抽出、精製を実施できる。 4) PCR法およびPCR産物の確認を実施できる。 5) 定量PCR法を実施できる。					
他科目との関連	分子生物学					
評価方法	項目	評価の内容				評価の比率
	筆記試験	実習への参加状況（予定されたすべての実習を行うこと、欠席した場合や再実習あるいは課題の提出を行うこと）				0.5
	レポート	レポート評価点				0.2
	記録等	実験ノート評価点				0.3
評価基準	総合の得点100～90点を秀、89～80点を優、79～70点を良、69～60点を可と評価し、合格とする。59点以下は不可と評価し、不合格とする。					
教科書	実習用テキスト（自作）					
参考資料	臨床検査学講座 遺伝子・染色体検査学 医歯薬出版 標準臨床検査学 遺伝子検査学 医学書院					
備考 (受講上注意、 事前学習等)	ヒト検体を扱うため、感染や個人情報漏えいに十分注意する。 レポート提出を求めない場合は、実験ノート評価の割合を0.5とする。					